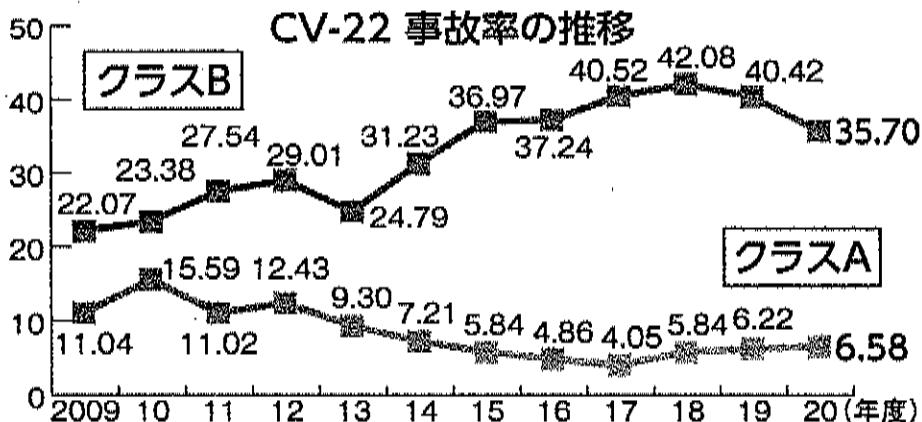


# 米軍CV22オスプレイ

# 最大事故率 3年連続上昇



## 横田に同型機

米空軍がこのほど公表した

2020会計年度（19年10月～20年9月）の事故統計によ

れば、横田基地（東京都福生市など5市1町）に配備され

ている特殊作戦機CV22オス

プレイは、最も重大な「クラ

スA」の事故率（10万飛行時間あたりの事故数）が、同基

地に配備された18年度以降、

3年連続で前年度を上回って

いることが分かりました。

米本土なども併せた統計に

よれば、「クラスA」事故率

は17年度が4・05だったのに

対し、18年度5・84、19年度

6・22、20年度6・58と上

横田基地を離陸するCV22  
オスプレイ＝10月27日  
(羽村平和委員会提供)

横田基地を離陸するCV22  
オスプレイ＝10月27日  
(羽村平和委員会提供)

事故の基準を改悪。従来、「クラスA」は死者または200万ドル以上の損害、「クラスB」は重い後遺症が50万～200万ドルの損害発生としていたが、損害額を「A」250万ドル以上、「B」60万～250万ドルに引き上げました。

CV-22の事故率について、防衛省は「10万飛行時間に達しない機種の事故率は意味がない」と弁明していましたが、20年度には10万時間を超えました。



ス戦闘機に次ぎます。

また、「クラスB」事故率は35・70で、前年度より減少しましたが、2番目に多いB

1爆撃機の18・30と比べて突

出しています。

ただ、米軍は20年度から事

話しています。

臺灣さんは「最近は市街地上空での夜間飛行が増え、市民の被害は拡大しています。東北や埼玉県など行動範囲も広がっており、やりたい放題の状況に慣れを感じます」と

昇。米空軍機ではF22ステル